



死

```
[ACCESS GRANTED]
> init@root:/# ./inject_protocol -x 01A
> decrypting...
> sequence: 1A0E_00101100_0B
> upload => port:1337
> response: [handshake_accepted]

01010011 01111001 01110011 00100000
:: TRACE PATH FOUND ::
-> node[92.88.27.13] <- proxy_tunnel_x12

[WARNING: SIGNAL INTERCEPTED]
[INITIATE SHADOW PROTOCOL]

$ sudo run --trace --override=true
$ inject -s "死" --mask_ip

RHASH[84b2:90afee13] SYNCING...
[ ] 10%
[ ] 30%
[ ] 95%
COMPLETE [ ]
```

これは私の判断です

どうぞご利用ください

R-18
AUDLT ONLY

世の中には 生まれつきにモテる人間がいる



WHY?

なぜあの男は
女を侍らせられるほど
モテているのだろうか？



外見？
否。

財力？
否。

性格？
あり得ない。

他のなに
かがある

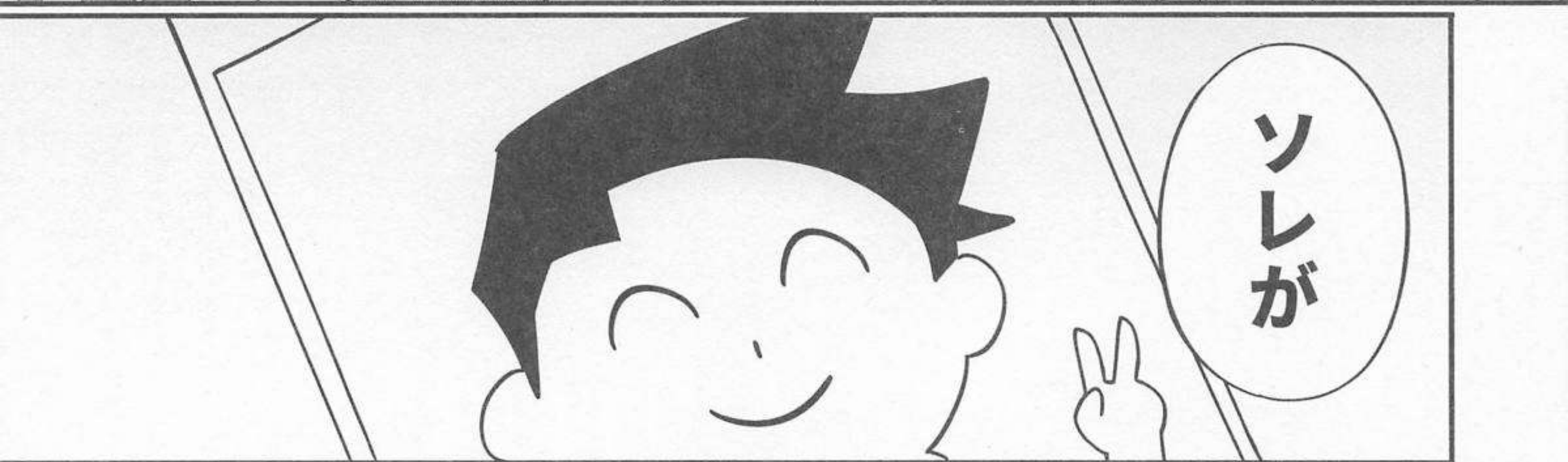
そして私はついに
その根本的な原因を
突き止めたのだ
それは――

超

絶

三
根







こんにちは
こちらへどうぞ
部屋散らかってて
ごめんなさいね

おお：
久しぶりじゃないか
どうしたんだいきなり

来てくれて
ありがとう

これからのお話は
不快感を与えてしまう
かもしれないのだけれど
他の生徒たちのためにも
単刀直入に言うわ

ふっ

ぺっ

え!?



チンポ

言い換えれば

もっかい言って
くれない?

しゅしゅ

毎日あんなものぶらさげて
男性ホルモンを撒き散らして

うわー

我が学園の風紀のみでなく
全キヴォトスにも
危害を及ぼしているわ

この問題を野放しにしているのは
学園内で混乱を起こしかねず

ないしは全生徒にも
脅威が降りかかる

これが先生の
求めている結果かしら？

あれ！？
なんか怒ってる？

いいえ





これは私の贖罪
そして唯一の解決策だわ

なんだって？
贖罪って…ええ？



準備完了よ

ふーっ

ふーっ

はっ

はっ

もズ

もズ

先生の答えは？



はーっ

あ...

はーっ

あ...

先生？

スツ

考えるんじゃない
感じてちょうだい

はっっ

はっっ

私の決断なので
遠慮はなさらず

クチュ

はっ

はが♡

はが♡



：あら
調べたものとは
違うみたいね

くー♡

ん？
あんなふうに出ておいて
ほんとはこういうの
何も知らなかったのか？

でも些細な違いよ
すぐに順応するわ

くー♡

くー♡

ヌプ

ププ

舌…
出してちょうだい

ヌプ

ヌプ

はあ
え？
あうん

ふん♡

ふん♡

ふん♡

ふん♡

ふん♡

ふん♡

ふん…

りゅる♡

りゅる♡

リオもこんな
顔するんだ…

は—♡

ハア♡

ハア♡

わあ…♡

あ…やばい
もうダメそう

は—♡

あゝ♡

はあ♡





トロオ

トロオ

ふ……

ふ……

ズ

先生にはまだ早すぎ
たのかもしれないわね

フム

キュハハ

キュハハ

とりあえず体を休ませて
よく考えてから
答えをちょうだい
私はここで待ってるわ

……

……

先生
来たわね

おお…

前はよく見れなかったけど
リオのセーフハウスって
こんな高層ビルだったんだ

もうすぐ事務が終わるので
少々お待ちを

あ
うん…?

では先生
私と中へ



何じっと見てるの？
先生も脱がない
と始まらないわよ

あ…
わかった…

はあ…

よく考えてから
と言ったじゃない

ごめん…

え？

あ…

あ

びりり

びりり

びりり

ズン



前回より大きいような…
それにニオイが

これは私の独断なので
先生の遠慮はいらない
と言ったのだけれど

先生
風呂入ってるのかしら

入ってるけど…
前回からずっと我慢してるせいで
ニオイが強くなってるかもな

ええ…

いや
そういわれても

は—っ

は—っ

は—っ

は—っ



ガシッ

はあ
それともこれをお望み？

え…まで
こんな方がいいのか？

今回の目的は
「先生をリラックスさせる」
なので

もズ

もズ

…わかった



ちよ
と

ちよつ

くさくさ

もう我慢できない…
このまま中に
出してもいい…？

ヒツ

つて



236

♡

ヒ

25

♡うた♡

エ



息が
できない

うっッ

くぽッ
くぽッ

おびえて

えん

このままでは...

くぽッ

くぽッ



くっ

はッ

くっ

はッ

くっ

私の甘すぎた判断が
命取りになってしまった...

セックス

もう引き返すことは
不可能

セックス

セックス

セックス

怪物を
私は生んでしまった

全て私の責任だ

何を対価にしても
挽回せねば

あれ？

おお

は——っ

おお

はあ

あ

あ

あ

思ってたのとちがう…

は——っ

まさか先生
まだ成長してる…？





あー！

もう頭が...
回らない...

あー！

あー！

ハキム

ハキム

ハキム

ハキム

ハキム

はーっ

はーっ

わーっ

はっ

はっ

はっ

この痛み
そしてこの
押し広げられる圧迫感

よく自分でしてるけど
今のとはまるで違う

こんなはずじゃ…

ヒュー♡

ヒュー♡

ヒュー♡

ヒュー♡

ヒュー♡

ヒュー♡

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ー
チ
ー



あ

はあ
だめそう

はあ

はあ

はあ

出るぞー!

だめえ

あ

はあ

ア

ア



ふーっ

ふーっ

いっせ

いっせ

いっせ

いっせ

ドッ

あつい...
しかも溢れ出てる...

ゴ

トクッ

トクッ

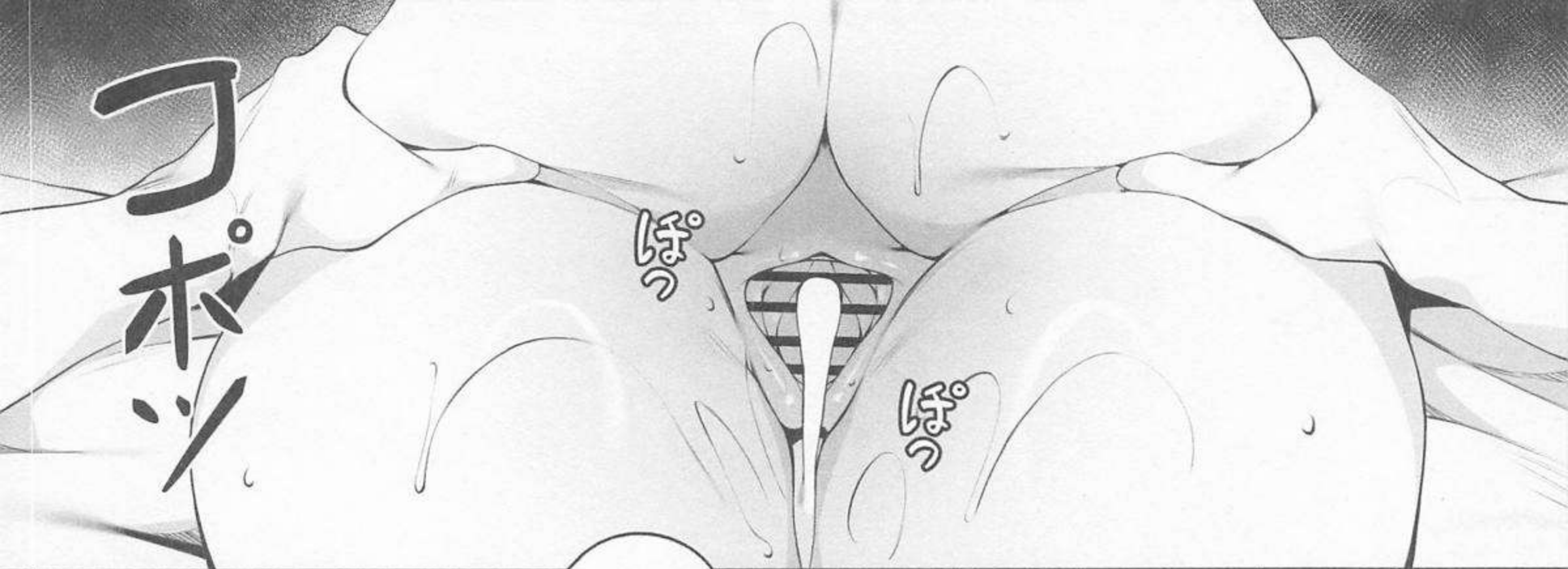
トクッ

トクッ

トクッ

トクッ







フチュ♡

フチュ♡

フチュ♡

フチュ♡

フチュ♡

フチュ♡

おっ

おっ

休憩なしのハチュ♡
二回戦!?

ハチュ♡

ハチュ♡

ハチュ♡

ハチュ♡

ハチュ♡

さっきあんなに出した
ばかりなのに!?

スっ



ちよっと



な…後ろから!?!
しかもこんな
恥ずかしい体勢…

まるで
人を道具のように扱う
やり方なんて



はあ…?

ハアッ

ハアッ

ズク

ズク

動けない…

息が…
苦しい…
首が…
締められてる？

ヒュッ

ヒュッ

ヒュッ

湿ってる…？
水…？
どうして水が…？

あ……

あ……

…
失禁…？

もう体すら
コントロールできなく
なってしまったの…？

…もう…
完全に予想外…
視界が…
ぼやけて…

ハアッ

ハアッ

ハアッ

一体どこで間違ったのだろうか

許したところから？

それとも資料の
読み間違い？

いや…
そもそも最初から
前提が間違っていたんだ…

もしかしたら
こんな決断を下す前には
ちゃんと話し合っておく
べきだったのかもしれない

そして
過去の過ちを認めて
素直に謝っていれば
先生との距離も
縮められていたの
かもしれない

そう...
だったんだ

私が見て見ぬふりを
していたのは
解決策ではなく
私自身の感情...
だったんだ

ずっと怯えていた
何かにも怯えていた

最適解を探れと
自分に言い聞かせていた

本当の私は
はじめから他人から見たような
強い人間ではなかったんだ

最初から隠さずに

自分の欲望に素直に
なればよかったんだ

はぁん

はぁん

はぁん

はぁん

ハチュ

ハチュ

ハチュ

ハチュ

ハチュ

トグ

トグ

トグ

トグ

トグ



私にはただ
救われた
ただけなんだ...

めぼっ



これがこの感情の答えなら
受け止めてやろう

理由も
足掻きも
いない…

だって

私が望んでいた
ものだから

先生 これは 私の判断です

どうぞご利用ください